

事務事業名		33400	消防団活動費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	消防本部	担当班	総務課消防団班
基本施策		30	消防力の強化	根拠法令	一般	9	1	2	事業種別			
施策の展開		59	非常備(消防団)消防体制の充実	戦略事業	消防組織法、旭市消防団条例、旭市消防団規則							
施策の展開				戦略事業	260 消防団組織体制の再編							
<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業												

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・消防団員の確保や資質の向上に努めるとともに消防団組織体制の強化を図る。・消防団活動関連経費(火災等出動費、備品購入、団運営補助金、各種訓練経費等)・市民を各種災害から保護する為、旭市地域防災計画に基づき消防の役割を十分果たすことができるよう消防防災体制の充実、強化を図る。 <報酬>【消防団員の報酬(年額)】 団長 11万円、副団長7万2千円、分団長5万8千円、副分団長4万5千円、部長3万5千円、班長2万円、団員1万7千円 <補助金>【市内消防操法大会補助金(車両1台に対し)】 6万円/回(29箇所)、待機部3万円/回(20箇所)、【海匠支部操法大会(車両1台に対し)】 20万円/回(4チーム出場)、【県操法大会】 50万円/回 (25年度は不出場)【団運営補助金(歳末警戒・出初式補助金(車両1台に対し)】 各1万円 <費用弁償>【火災出動時(車両1台に対し)】 6千円/回、【各種訓練・警戒活動】 1千円/人	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
合併前から、各市町において、各消防団に対し支援していたものを、合併後も引き継ぎ統合したものである。	・平成21年度から団再編成を逐次開始し、18分団64箇部から16分団47箇部(49車両)体制に変更した。 ・消防団が使用する消防庫の老朽化が進んでいる。	住民から地域防災について、再編成以前と同水準の活動を望まれている。(分団数が統合されても。)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位:千円		事業費						
1.報酬	18,527	本部役員、一般団員の報酬	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
2.旅費	5,460	費用弁償	1.報酬	千円	19,776	19,317	18,725	18,527
3.需用費	904	消耗品費、食料費	2.旅費	千円	5,780	5,942	6,561	5,460
4.備品購入費	518	消防防災用備品費	3.需用費	千円	1,552	955	1,642	904
5.その他	6,636	負担金補助及び交付金、報賞費、役務費	4.備品購入費	千円	132	186	390	518
			5.その他	千円	8,929	6,828	7,211	6,636
			事業費計(A)	千円	36,169	33,228	34,529	32,045
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位:千円			1.国庫支出金	千円				
1.国庫支出金	0		2.都道府県支出金	千円				
2.都道府県支出金	0		3.地方債	千円				
3.地方債	0		4.その他	千円				
4.その他	0		5.一般財源	千円	36,169	33,228	34,529	32,045

前年度増減理由	災害出動人員の減少
---------	-----------

従事職員数 常時 2人 最大 3人 × 50日 = 延べ 150人

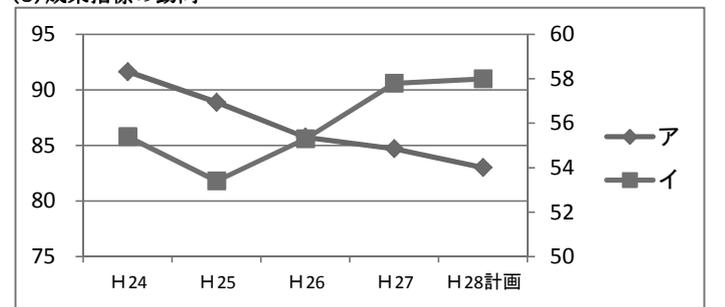
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 各種訓練、歳末警戒、出初式等参加人数	人	14,912	18,661	18,355	15,251	16,000
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 各種災害等出動人数	人	1,480	1,119	1,863	924	1,000
	対象意図		④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図	消防団組織	⇒	ア 団員充足率(団員数/団員定数)	%	91.6	88.9	85.7	84.7	83.0
	班の統合による団員数適正化		イ 消防団の訓練参加率(全体訓練[6回]参加者/実人数×6)	%	55.4	53.4	55.3	57.8	58.0
	消防団員								
	訓練や研修により団員の資質が向上する。								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	コスト比率		
	普通	かなりある		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある		①	②	③
		ほとんどない	④⑤	⑥	(11)	
			⑦⑧	⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)										
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ	成果指標ア	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	成果動向	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
					ア	△ 2.2	△ 2.8	△ 3.1	△ 1.0	△ 1.7
					イ	不明	△ 2.0	1.9	2.5	0.2
③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他 ()					
	①28年10月 ②28年6、11月	①消防団役員会議で消防団員適正化の検討を行う。 ②今年度より消防学校宿泊研修参加により更なる団員の資質向上を目指す。			団員数の適正化及び資質の向上					